

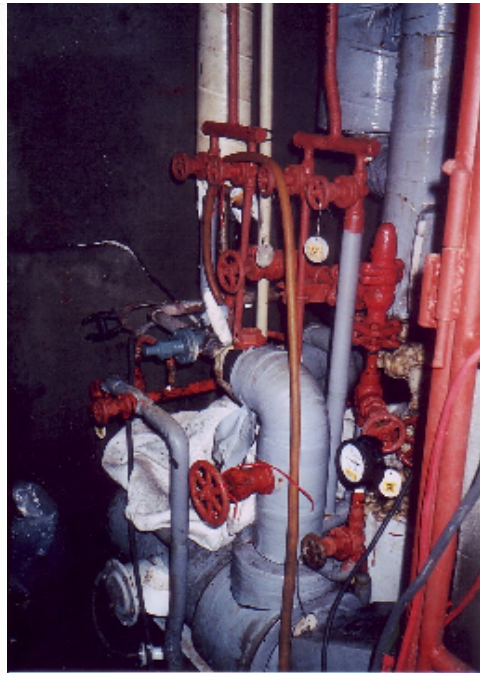
事故情報

タイトル	バルブの誤操作等による液封鎖事故				
発生年月日	平成 1 7 年 9 月	発生場所	福岡県下	ガス種	アンモニア
概要	<p>事故前日、アイスクリームの生産停止に伴いアイスクリーム用フリーザ（硬化トンネル）の給液用手動止弁を閉止し、その後液ポンプを停止した。このため、液ポンプ出口の逆止弁と硬化トンネルの給液用手動止弁との間の液配管は、液冷媒が充満した液封鎖状態となっていた。周囲の気温（28℃）によって当該配管内の液の温度が上昇し、液膨張による異常な圧力上昇が生じたため、液ポンプの吐出弁が破損し、アンモニア 150 kg が漏洩した。</p>				
対策・改善事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関係者全員へ配管・バルブ位置等の周知徹底を図り、バルブ操作手順等の再教育を実施した。 2. 液封鎖防止対策として、新たに高圧発生防止ライン（逃がしライン）を新設した。 3. バルブ開閉札の有無の調査を行い、取り付けられていない箇所バルブ開閉札の取り付けを行った。 				

写 真



バルブ破損状況



液ポンプ応急処置後